

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	子どもショートステイ事業			会計	款	項	目	大	小
				01	03	02	03	01	54
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	子ども家庭課				
施策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり		主管課長	石井 由美子				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	18歳未満の子どもと保護者	意図	適切な児童の養育及び子育て家庭への支援を図る。
事業内容	保護者が、病気・出産・冠婚葬祭・育児疲れ等により、一時的に子どもを養育できず、また育児の協力も得られない場合、申請により児童養護施設で子どもを一時保護するための子育て短期支援事業。			
事業開始から現在までの状況変化	平成18年度から事業実施			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		利用率	13	21	46	%	
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 病気や仕事、育児疲れ等により、子どもを一時的に預けたい保護者が増えている。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,999,882	3,942,582	3,919,262			
事業費（b）（円）		1,846,482	1,846,482	1,846,482			
うち一般財源		1,846,482	1,846,482	1,846,482			
職員給与費(c)(円)		2,153,400	2,096,100	2,072,780			
人役・職員(人)		0.30	0.30	0.30			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H26)の改善計画	子育て支援のセーフティーネット策として事業のPRに努める。
今年度(H26)に実施した取り組み	子育てガイドブックや各種広報媒体で制度のPRを行った。

取り組みの課題	ニーズの高まりに合わせた、事業の拡充を図る。
今後の改善計画	本事業は一時的な養育困難に対応する支援として必要不可欠なものであり、今後も安心して子育てができる環境づくりを推進していく。